



# 末吉小だより

横浜市立末吉小学校

令和3年度

2月号



## 主体的に学ぶ

学校長 本庄 則子



今年は冬らしい寒さが続いています。登校するときは首をすくめて寒そうにしている子どもたちですが、校舎の中では笑顔で活動し、休み時間は元気に外に飛び出して遊んでいます。第6波の感染拡大に気が気でない方も多いのではないかと思います。学校ではこの2年間で培ってきた対策を継続して行っています。

さて、1月の中旬には、鶴見区の一斉授業研究会が行われました。教員が授業実践を通して学んでいく研究会です。今年度の末吉小は体育科（保健を含む）を担当し、2年生・4年生・5年生が1学級ずつ授業を公開することになっていました。しかし直前になって他校の多数の先生方が集合するのは難しいと判断し、授業を撮影して、後日、研究会を開くことにしました。

授業は、公開するその1時間だけが大切なわけではありません。学習を通して、どのような力（資質・能力）を育てるのか、そのためにどのように指導計画をたてればよいか、教員は目の前の子どもたちの姿をとらえて考えます。子どもたちと共につくる授業では、子ども自身が自分の学びの姿に気づいて、自らの成長を感じることができます。その学習でできるようになったこと、できなかったこと、次に生かしたいことが明確になれば、学びはつながっていきます。今回の授業でも、「よくわかった」「〇〇ができるようになった」「次は〇〇を工夫したい」「もっとこの運動を続けたい」などの声がきかれ、主体的に学習している姿がみられました。末吉小の研究主題である「主体的に学ぶ子どもの育成」をこれからも大切にしていきます。

また、今年度は10月1日より末吉中ブロックの学校運営協議会がスタートしました。地域代表、末吉中・末吉小・上末吉小・下末吉小・駒岡小の保護者代表及び校長、学識経験者で構成され、地域と学校の連携・協働を図ると共に教育活動の充実や子どもたちの成長に寄与していきます。学校運営協議会の役割は次のようになります。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議会の主な役割として、

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

の三つがあります。

